

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第14週 > ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-7

< インフルエンザ、特にインフルエンザ脳症について >  
第14週の全国レベルでの定点当たり報告数は5.24で、第9週のピーク以降は大幅な低下が続いている



病原体情報  
P.8-9

インフルエンザウイルス 2004/05シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン



速報  
P.10-11

インフルエンザ脳症が疑われた小児からのインフルエンザウイルスの分離 - 秋田市



海外感染症情報  
P.12-14

アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新 / カンボジア: 鳥インフルエンザ流行状況 - 更新 / ベトナム: 鳥インフルエンザ流行 - 更新



感染症の話  
P.15

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(14週)  
P.16-22



14週のデータ  
P.23-34



## 発生動向総覧

\*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第14週コメント> 4月14日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症:報告なし

2類感染症:コレラ 2例(推定感染地域:フィリピン1例、台湾1例)

細菌性赤痢 8例(推定感染地域:国内1例、インド2例、フィリピン1例、インドネシア1例、インド/パキスタン1例、インド/ネパール1例、不明1例)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 9例(うち有症者8例)

報告の多い都道府県:富山県(4例、第13週からの飲食店における集団発生)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(6例)、O157 VT2(2例)、その他(1例)  
年齢:10歳未満(1例)、20代(3例)、30代(1例)、50代(1例)、60代(2例)、70歳以上(1例)

4類感染症:オウム病 2例(推定感染源:ジュウシマツ1例、鳥1例)

つつが虫病 1例(神奈川県)

マラリア 1例(型不明\_\_推定感染地域:アフリカ)

E型肝炎 2例

(推定感染地域:ともに国内、推定感染源:豚レバー1例、不明1例)

A型肝炎 7例(推定感染地域:国内5例、カンボジア1例、東南アジア1例)

5類感染症:アメーバ赤痢 6例

推定感染地域:すべて国内

推定感染経路:経口1例、性的接触(異性間)1例、不明4例

ウイルス性肝炎 1例(B型\_\_推定感染経路:不明)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(49歳)

後天性免疫不全症候群 6例(無症候3例、AIDS 2例、その他1例)

推定感染経路:すべて性的接触(異性間1例、同性間5例)

推定感染地域:すべて国内

梅毒 10例(早期顕症I期3例、早期顕症II期3例、無症候4例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例

(遺伝子型:VanB\_\_菌検出検体:尿)

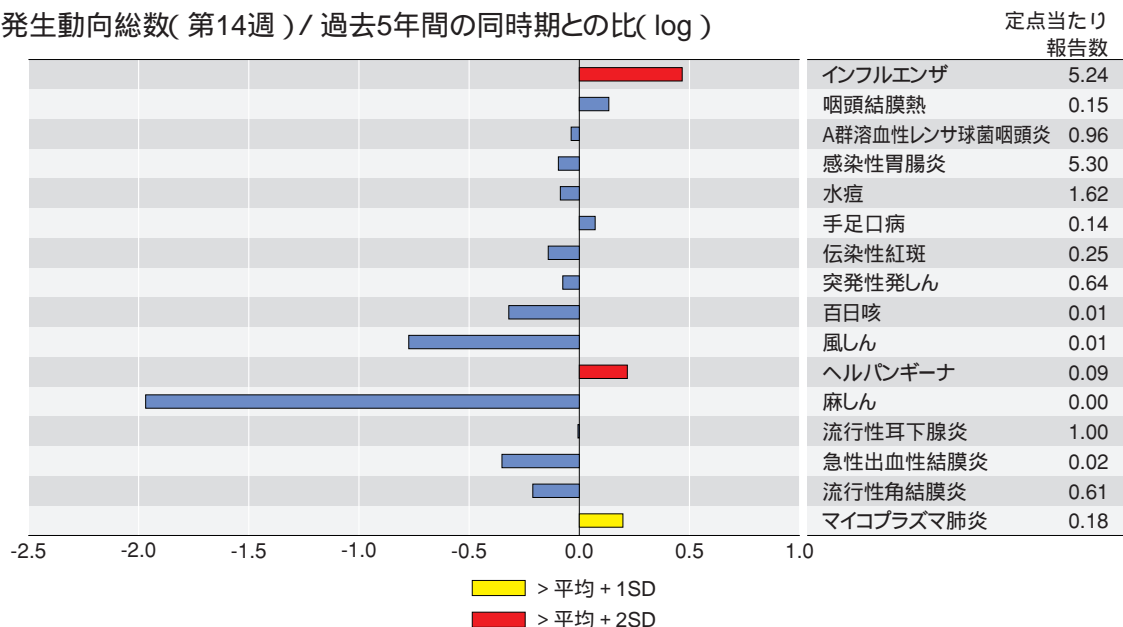
急性脳炎 2例(ともに病原体不明(1歳、20代))

(補)他に、ウイルス性肝炎1例、梅毒2例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとしてE型肝炎1例(推定感染地域:中国)、急性脳炎10例(A型インフルエンザウイルス1例(3歳)、B型インフルエンザウイルス4例(30代1例、70代2例、80代1例:死亡)、ペニシリン耐性肺炎球菌1例(60代)、病原体不明4例(40代1例、50代2例、60代1例))の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第14週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

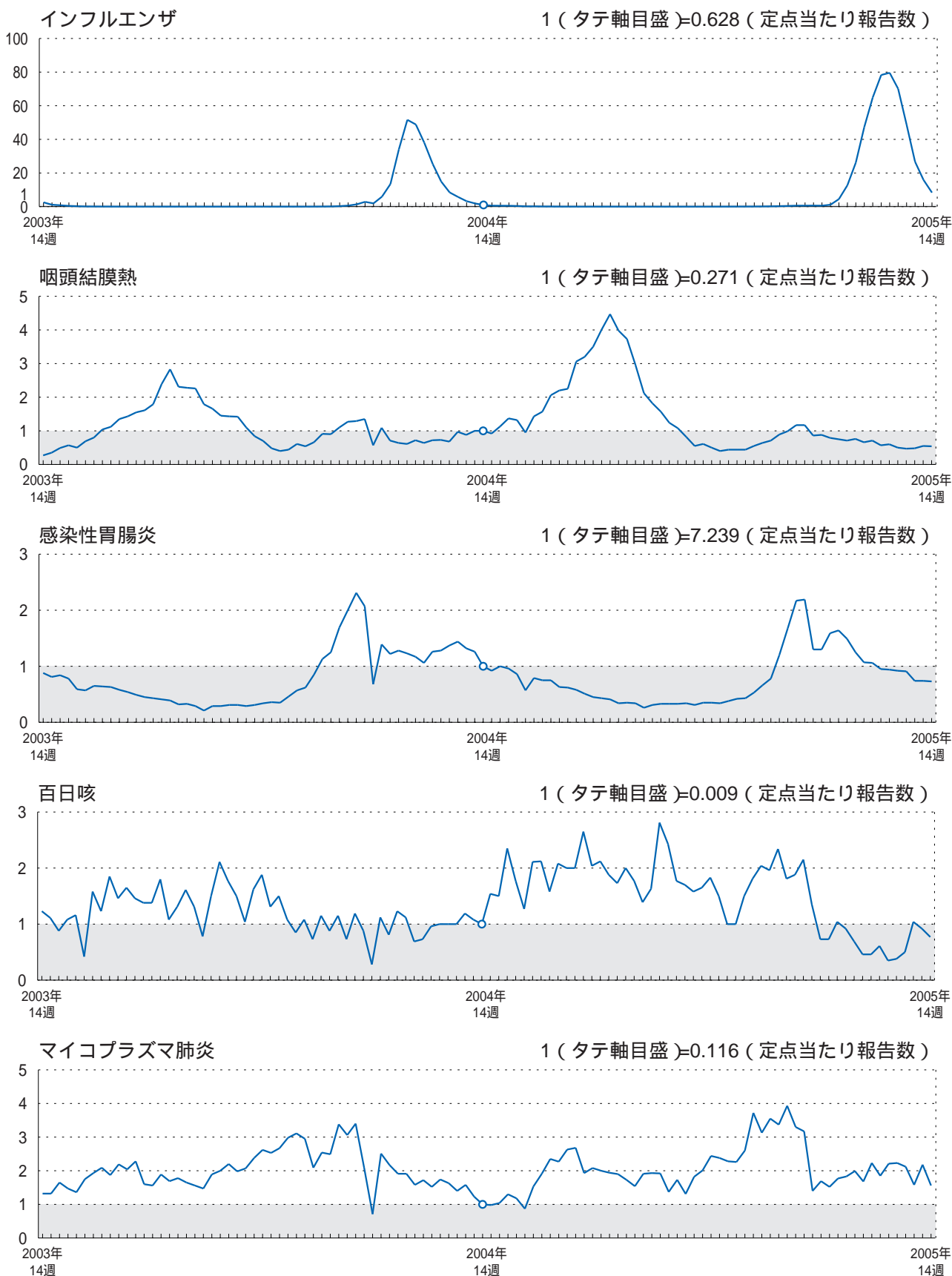
**インフルエンザ定点報告疾患** : 定点当たり報告数は5週間連続で大きく低下したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態は継続している。都道府県別では沖縄県(18.7)、秋田県(18.6)、福井県(12.5)、青森県(12.3)が多い。

**小児科定点報告疾患** : 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岐阜県(0.42)、福井県(0.41)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県(2.1)、石川県(2.1)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では宮崎県(17.8)、福井県(13.9)、鳥取県(9.9)、大分県(9.9)が多い。水痘の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では沖縄県(4.6)、宮崎県(3.2)、三重県(2.7)、福岡県(2.7)が多いが、特に沖縄県では第4週以降、全国で最も高い値が続いている。手足口病の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では沖縄県(0.56)、高知県(0.52)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では福井県(0.18)、栃木県(0.07)が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福島県(0.06)、岡山県(0.06)、沖縄県(0.06)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛媛県(0.78)、岐阜県(0.53)、和歌山県(0.39)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福井県(0.05)、高知県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(3.5)、熊本県(2.3)、福岡県(2.2)、佐賀県(2.1)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて34都道府県から44例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下が全体の75%を占めている。

**基幹定点報告疾患** : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では山口県(1.67)、石川県(1.20)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第14週)

2004年第14週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





## 注目すべき感染症

### インフルエンザ、特にインフルエンザ脳症について

2005年第14週の全国レベルでのインフルエンザ報告数は24,589、定点当たり報告数は5.24と、第9週のピーク以降は大幅な低下が続いている(図1)。例年よりも遅れているが、インフルエンザの流行は終息に向かっている。

インフルエンザ脳症は毎年、インフルエンザの流行期に一致して5歳未満の乳幼児を中心に発生がみられている。インフルエンザ発症による発熱から神経症状(痙攣、熱せん妄、意識障害など)の出現までが0～1日以内と急速であり、予後は致命率30%、後遺症出現率25%とされている(「インフルエンザ脳症」の手引き:厚生労働省インフルエンザ脳症研究班編集より)。以前はライ症候群と混同された場合もあったが、異なった病態である(表1)。

今シーズンのインフルエンザ脳症の報告一覧を表2に示す。これまではA型インフルエンザ罹患者(特にAH3)に多いとされてきたが、今シーズンはB型の流行を反映してか、第14週現在でB型罹患者からの報告が60%以上を占めている。しかしながら、全報告例は36例にとどまっており、従来1シーズンに100～300例といわれていた報告数と比べて少なくなっている。また、報告のあった自治体は17都府県であり、30道府県からの報告はなかった。インフルエンザ脳症が急性脳炎のカテゴリーに組み込まれて、全国の医療機関から報告されるようになったのは実質的に今シーズンからであるが、将来に向けてそのサーベイランスの効率性および精度を高めることは、検討すべき課題である。

インフルエンザ脳症はこれまで小児の疾患であるとされてきたが、表2にみるように、最近高齢者での報告が含まれている。しかし高齢者におけるインフルエンザ脳症が、従来の小児におけるものと同じものかどうかについては、今後の検討が必要と思われる。

図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1994/95シーズン～2005年第14週)

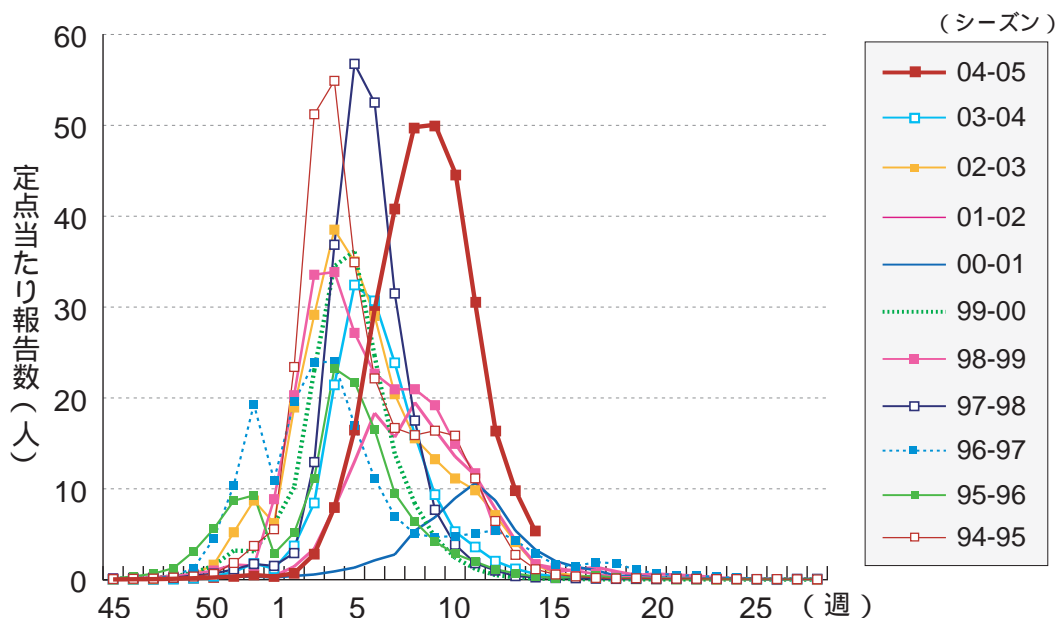


表1. インフルエンザ脳症とライ症候群の比較

	インフルエンザ脳症	ライ症候群
年齢	1歳をピークに0～5歳が中心	6～12歳
先行感染	インフルエンザの極期に発症	インフルエンザ・水痘などのウイルス感染
ウイルス	AH3型インフルエンザウイルスの頻度が高い	インフルエンザウイルスの場合はB型
解熱剤	最近の発症例の殆どは解熱剤は使用されていない	殆どの症例にアスピリンが使用されている
臨床経過	インフルエンザ発症から脳症発症まで0～2日	起因となる疾患発症からライ症候群発症までが4～7日
検査値	主に高血糖	低血糖が中心
アンモニア	正常(約10%で上昇)	著明な上昇
病理所見	脳組織内での血管周囲への血漿の漏出、ミクログリアの反応	肝細胞の脂肪変性(微細脂肪沈着)
原因	体内でのサイトカイン産生の亢進?	ミトコンドリア障害との関係が考えられている

平成15年3月「インフルエンザの臨床経過中に発生する脳炎・脳症の疫学及び病態に関する研究」研究報告書を引用し、新たに病理所見・原因の項を付加した

表2. 2004/05シーズンのインフルエンザ脳症の報告例( 2005年第14週現在 )

No.	性別	年齢	報告都道府県もしくは 政令市・保健所設置市	発症年月日	インフルエンザ ウイルスのタイプ	届出時既死亡
1	男	6	東京都	2004.10.13	A	
2	女	10	新潟県	2004.12.10	不明	
3	女	2	静岡県	2005.1.20	不明	死亡
4	女	2	栃木県	2005.2.2	B	
5	男	14	山口県	2005.2.5	B	
6	女	4	大阪府	2005.2.10	A	
7	男	13	大阪市	2005.2.15	不明	死亡
8	女	2	大阪市	2005.2.16	B	
9	男	5	東京都	2005.2.17	B	
10	男	1	岡山市	2005.2.18	B	
11	男	2	東京都	2005.2.20	B	
12	女	4	新潟県	2005.2.21	B	
13	男	1	大阪市	2005.2.22	B	
14	女	1	新潟市	2005.2.24	B	
15	女	1	大阪市	2005.2.26	B	死亡
16	女	3	東京都	2005.2.26	B	
17	女	6	青森県	2005.2.27	A	
18	女	6	大阪市	2005.2.27	B	死亡
19	男	2	熊本県	2005.2.28	A	
20	女	2	三重県	2005.3.1	B	
21	女	4	浜松市	2005.3.6	B	死亡
22	男	6	新潟県	2005.3.6	B	
23	男	1	大阪市	2005.3.9	不明	
24	男	7	栃木県	2005.3.10	B	
25	女	7	鹿児島県	2005.3.12	B	死亡
26	女	0	山梨県	2005.3.12	B	
27	女	1	奈良県	2005.3.13	B	死亡
28	男	4	姫路市	2005.3.18	B	
29	女	7	東京都	2005.3.19	A	
30	男	3	沖縄県	2005.3.23	A	
31	女	47	新潟市	2005.2.28	B	
32	女	60	京都府	2005.3.3	B	
33	男	32	福岡県	2005.2.20	不明	
34	女	79	福岡県	2005.2.27	B	
35	女	79	福岡県	2005.3.8	不明	
36	男	83	福岡県	2005.3.8	B	死亡



# 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

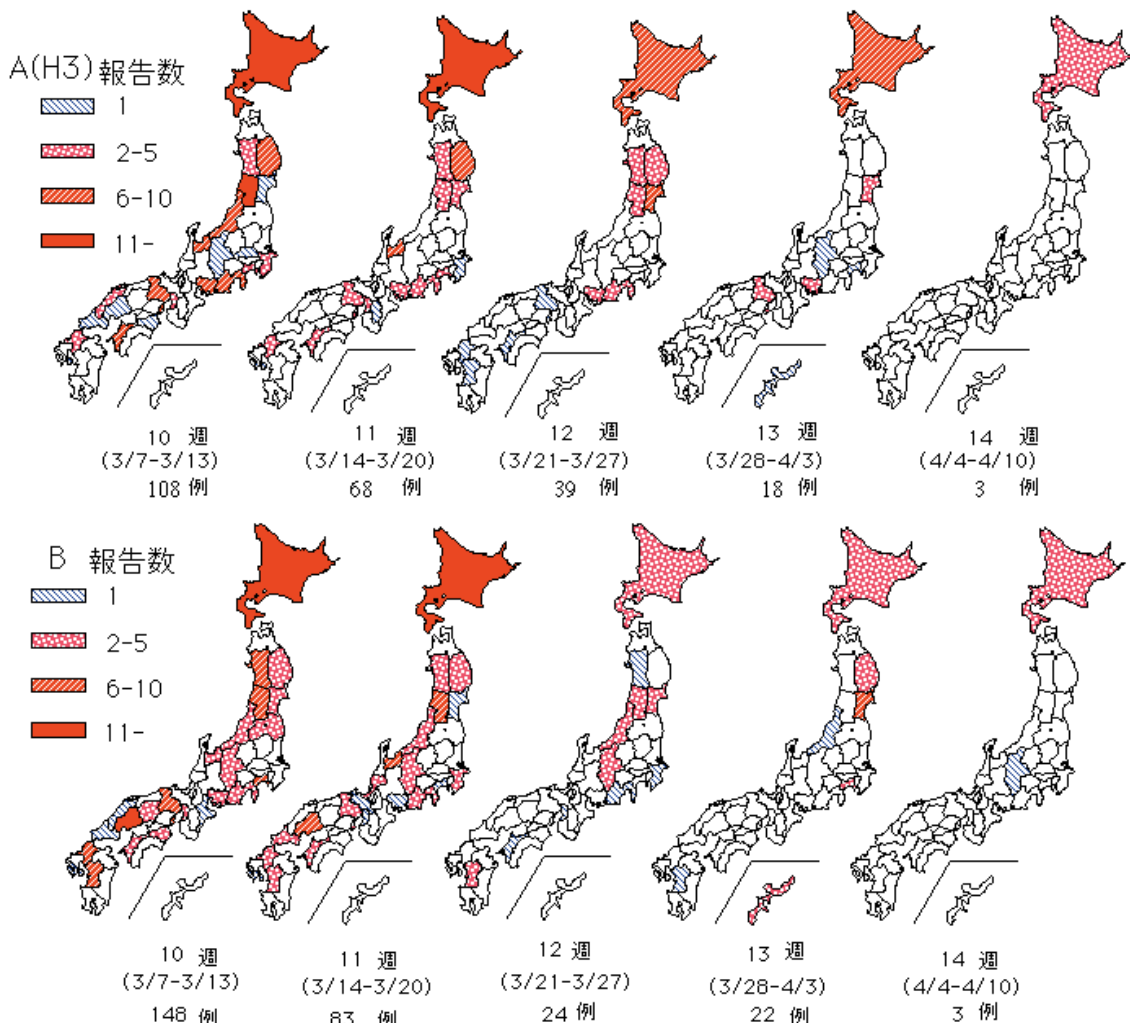
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2005年4月15日現在報告分)

## インフルエンザウイルス 2004/05シーズン

今シーズンはB型2,571件(うち19件はPCRのみによる検出)、AH3型1,588件(うち13件はPCRのみによる検出)、AH1型166件の分離・検出が報告されている。第2週以降B型の報告数が大きく増加して主流となっていたが、6～7週をピークに減少している。第10週以降の都道府県別検出報告状況を見ると、北海道では第14週現在も引き続き、B型とAH3型の両者が検出されている。

都道府県別インフルエンザウイルスA (H3) & B 分離・検出報告状況、2004/05シーズン  
(病原微生物検出情報: 2005年4月15日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

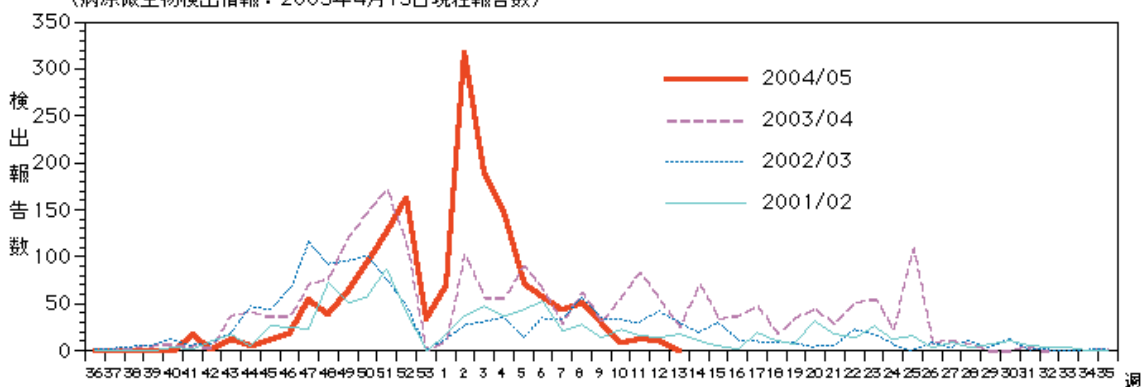


**冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2004/05シーズン**

今シーズンはノロウイルスが1,609件、サポウイルスが53件、電顕による検出(SRSV)が8件報告されている。ノロウイルスの検出報告のうち、genogroup(G)IIが1,309件、GIが117件、G不明が183件である。年末(52週)のピークは前シーズンと同程度であったが、第2週に大きく増加し、過去3シーズンを大きく上回った。

ロタウイルスは、過去3シーズンに比べて第1週から早く増加し始め、これまでに268件の検出が報告されている。内訳はA群264、C群2、群不明2である。

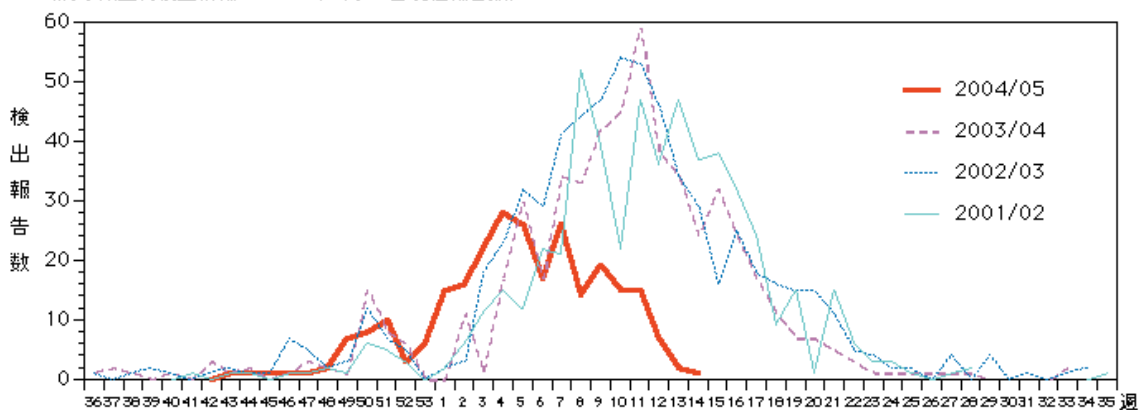
**週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス)検出報告数、過去3シーズンとの比較(2001/02-2004/05)**  
(病原微生物検出情報: 2005年4月15日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



**週別ロタウイルスの検出報告数、過去3シーズンとの比較(2001/02～2004/05)**  
(病原微生物検出情報: 2005年4月15日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





## インフルエンザ脳症が疑われた小児からのインフルエンザウイルスの分離 - 秋田市

2005年3月上～中旬にかけて、秋田市の医療機関(小児科)でインフルエンザ脳症と診断された患者から採取された検体を用いて、当所でウイルス分離を実施した結果、インフルエンザウイルスA/H3N2型、およびB型が分離されたのでその概要を報告する。

症例1(1歳女児): 2005年3月5日ごろ発熱があり、6日に救急外来を受診中に3分間間代性けいれんが出現し、その後意識障害(JCS100～200)を生じて入院した。入院時の症状は発熱39、意識清明、項部硬直(-)、および呼吸音静であったが、入院時に頭部CT撮影で脳浮腫がみられたことから、インフルエンザ脳症と考えられた。入院後、輸液管理、グリセロール投与、およびリン酸オセルタミビル(オセルタミビル)内服開始などにより、8日に解熱した。10日に頭部CTで脳浮腫の改善があり、12日に退院した。同患者の鼻汁(7日採取)を用いてウイルス分離(MDCK)を実施した結果、インフルエンザウイルスB型が分離された。

症例2(9歳男児): 2005年3月7日に発熱があり、8日に開業医(小児科)を受診してオセルタミビルの処方を受けたが、40の高熱が続き、夕方3回の嘔吐がみられた。さらにつじつまのあわないことを言うようになり、8日に救急外来を受診して入院した。入院時の症状は傾眠状態、項部硬直(-)、および呼吸音静であった。頭部CTで脳浮腫がみられたことから、インフルエンザ脳症と考えられた。入院後、輸液管理、グリセロール投与、およびオセルタミビル内服開始などにより、9日の朝には意識清明となり、10日に解熱した。11日に頭部CTで脳浮腫の改善があり、13日に退院した。同患者の鼻汁(9日採取)からインフルエンザウイルスB型が分離された。

症例3(1歳男児): 2005年3月7日に39の発熱があり、啼泣後に急に全身性間代性けいれん(1分)を生じ、意識障害遷延(-)であったが救急受診して入院した。入院時の症状は意識清明、項部硬直(-)、および呼吸音静であった。入院後再び全身性間代性けいれんが出現し、頭部CTで脳浮腫がみられたことからインフルエンザ脳症と考えられた。入院後、輸液管理、オセルタミビル内服開始、およびグリセロール投与開始などを行ったが、8日に解熱した。10日に頭部CTで脳浮腫の改善があり、12日退院した。

同患者の鼻汁(8日採取)からインフルエンザウイルスA/H3N2型が分離された。

症例4(6歳女児): 2005年3月10日夕方から40の発熱、11日には全身性硬直性けいれん(3分)がみられ、救急搬送されて入院した。入院時の症状は意識清明、項部硬直(-)、および呼吸音静であった。入院時の頭部CTで脳浮腫などがみられたことから、インフルエンザ脳症と考えられた。入院後、輸液管理、オセルタミビル内服開始、およびグリセロール投与開始などを行い、12日に解熱した。15日に頭部CTで脳浮腫の改善があり、16日に退院した。同患者の鼻汁(11日採取)からインフルエンザウイルスA/H3N2型が分離された。

症例5(5歳女児): 2005年3月11日に38.6の発熱がみられた。食欲なく、ぐったりして受診した。インフルエンザウイルスA型抗原陽性であり、入院して輸液とオセルタミビル内服にて治療を受けた。12日、意識不明瞭で反応性の低下があり、名前と年齢は答えるが場所が不正確であり、軽度の意識障害と判断された。手足のびくつきもあり、頭部CT施行したところ脳浮腫の所見があり、インフルエンザ脳症の合併と診断した。グリセロールとデキサメサゾンを開始し、同日意識は清明になり、13日には解熱した。16日の頭部CTでは脳浮腫の所見が改善しており、23日に退院した。同患者の鼻汁(16日採取)からインフルエンザウイルスA/H3N2型が分離された。

当所で実施している感染症発生動向調査の病原体検出状況(2月8日～3月24日現在)では、県内医療機関のインフルエンザ患者から採取した検体からインフルエンザウイルスA/H3N2型が17株、同A/H1N1型が1株、およびB型が30株分離されている。

一方、秋田県感染症情報センターから報告された、2005年の秋田市におけるインフルエンザの発生規模(一定点あたりの患者数)をみると、第2週(1月10日～1月16日)1人、第3週(1月17日～1月23日)1.82人、第4週(1月24日～1月30日)2.55人、第5週(1月31日～2月6日)6.55人、第6週(2月7日～2月13日)14.55人、第7週(2月14日～2月20日)33.55人、第8週(2月21日～2月27日)75.73人、第9週(2月28日～3月6日)120.27人、第10週(3月7日～3月13日)142人、第11週(3月14日～3月20日)116人、および第12週(3月21日～3月27日)74.55人で、ピークは第10週であった。今回のインフルエンザ脳症患者のほとんどは、流行がピークを示した第10週に発症しており、さらに、これらの患者からA/H3N2型およびB型の2種類のインフルエンザウイルスが分離されたことから、第10週のインフルエンザの発生規模の大きさが裏付けられた。

秋田県衛生科学研究所

原田誠三郎 安部真理子 佐藤寛子 斎藤博之 八幡裕一郎 笹嶋 肇

佐藤智子 鈴木紀行

秋田組合総合病院小児科

小松和男

(IASR 2005年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### アンゴラでのマールブルグ病流行 - 更新

WHO/CSR 2005年4月13日

2005年4月11日時点で、アンゴラではマールブルグ病患者232名が報告され、そのうち210名が死亡している。Uige州では患者202名、死亡者190名が発生し、最も被害の大きい地区である。

今回のマールブルグ病流行は過去最大規模の流行であり、また、都市部での流行という点でも前例がない。その正確な流行規模は未だ完全には把握されていない。患者発見のためのサーベイランスは改善したが、依然として不十分である。連日移動対策チームが活動しているUige州では、サーベイランス活動は死亡者の調査と死体の収集に集中した状態が続いている。依然、対策チームの安全も懸念される。さらに多くの車両が必要であり、WHOは緊急度に応じた調整を余儀なくされている。

流行を制圧するために患者の発見と隔離を迅速に行う必要があるが、これは、住民がマールブルグ病患者を自宅で介護する危険性を理解しなければ実現が難しい。医療機関での感染予防対策も改善が必要で、WHOはアフリカ諸国の現状に合わせた感染防御装備を国内外のスタッフに供給している。

歓迎すべき展開としては、国際赤十字赤新月社がUige州での活動を強化すると決定したことがあげられる。こうした組織からのボランティアは、現地の共同体および教会のリーダーや信療者や協力して、戸別の情報提供・教育キャンペーンを実施する活動グループの一部である。本日、そのスタッフはGlobal Outbreak Alert and Response Network( GOARN )の専門家から、社会動員や医療人類学に関する特別訓練を受けた。これらのスタッフは市場や学校で市民に情報を伝えるため、直ちに活動を展開した。国際赤十字赤新月社はアフリカでの複数の緊急事態に対応した経験を有し、大規模なエボラ出血熱流行の制圧に当たっても大きな貢献を果たした。こうした経験から、同組織のスタッフは現地住民には歓迎すべき支援者と映る。WHOは、流行対策活動へのこのようなさらなる歓迎すべき支援により、流行対策がもっと受け入れられ、ハイリスクな行動が減少することにつながるものと期待している。

WHO/CSR 2005年4月14日

2005年4月12日時点で、アンゴラではマールブルグ病患者235名が報告され、そのうち215名が死亡している。Uige州では患者208名、死亡者194名が発生し、依然として最も被害の大きい地区である。

同州の400床規模の大病院の隔離病棟では、マールブルグ病患者の治療のための設備と人員が配置された。しかし、患者の発生が続いているにもかかわらず、この隔離病棟に入院している患者はいない。住民は隔離対策を受け入れておらず、疑い患者の報告や隔離を拒んでいる。

WHOは事態の緊急性を考慮して、二次感染リスクを緩和するための次善の策(患者を看護する家族などに感染予防法を伝え、防護具を供給する)を緊急避難的に導入する予定である。

本日、GOARNの専門家が現地の病院スタッフに対し、医療施設内での二次感染予防のための設備と防護具の使用法に関する訓練を開始した。

もう一つの緊急問題は、Uige州の遠隔地の村へのアクセスが悪く、症例サーベイランスが十分に実施できないことである。これに対しては軍のヘリコプターの支援を受けて、今後の患者発生の際に必要な物資の事前配備を開始した。

不幸な事件として、社会的動員について新たに訓練を受けた赤十字からのボランティア4名が落雷で死亡した。

WHO/CSR 2005年4月15日

アンゴラでのマールブルグ病患者データについては、現在再分類を行っており、全国の詳細データは提示できない。流行が最も深刻で疾患監視が改善してきているUige州についてのみ、詳細なデータが得られている。

2005年4月14日現在、224名の患者が報告され、このうち207名が死亡している。大部分の患者がUige州で発生しており、患者175名、死亡者163名が報告された。Uige州と比較すると、他の7自治体からはわずかな患者数が報告されているに過ぎない。

住民がこの疾患を正しく理解し、流行対策を受け入れることが最優先課題である。本日、WHOのUige事務局でのミーティングにはSobasと呼ばれる各村の長老が参加した。地方知事と保健局長官はSobasに対し、従来業務を7日間休ませ、移動対策医療チームに同行して患者搜索や死体収集にあたるよう指示した。この決定は、流行制圧対策が住民に受け入れられるための重要な一歩に当たるとして歓迎された。

地方の病院では、スタッフの感染防御手段の訓練が続けられている。本日は、産科病棟や検査室を含むハイリスク部門の看護師82名が訓練を受けた。昨日は、各部署の責任者や医師が訓練を受けた。開業医や保健医療スタッフ、治安警察当局の保健作業員の訓練も来週早々に計画されている。

#### カンボジア: 鳥インフルエンザ流行状況 - 更新

WHO/CSR 2005年4月12日

2005年4月12日現在、カンボジア保健省は、4月7日に死亡したKampot州の8歳の少女が、同国3例目の鳥インフルエンザ感染患者であることを確認した。

この患者は2005年3月29日に発熱で発病した。4月7日に患者の病態は急激に悪化したため、地域の高次病院を受診後、プノンペンのKuntha Bopha病院に転院となり、そこで死亡した。プノンペンのパスツール研究所にて、患者から採取された検体から鳥インフルエンザH5N1型ウイルスが検出された。

保健省、農業省、WHO、パスツール研究所、FAOのメンバーからなるチームにより、速やかにフィールド調査が実施された。家禽の死亡は2月に患者が在住した村で発生したが、患児の発病前2週間に死亡した家禽はなかった。

患者の感染源としてヒト-ヒト感染も考えにくい。患児の発病する以前に、患児との接触者に類似症状を呈した人はいなかった。感染源の調査が続行中である。この患者を看病した濃厚接触者4名と、カンボット州とプノンペン市の医療関係者9名から検体が採取された。全例が検査でH5N1型ウイルス陰性と確認された。

Banteay Measと近隣地域で住民教育キャンペーンが行われている。カンボジアでのこの疾患制圧を支援するためには、国際社会からの至急の資金提供が必要である。

ベトナム: 鳥インフルエンザ流行 - 更新

WHO/CSR 2005年4月14日

ベトナム保健省はWHOに公式情報として、新たなインフルエンザA( H5N1 )ウイルス感染確定患者8名の発生を報告した。そのうちの患者2名は、2005年4月2 ~ 8日の間にHung Yen省とHa Tay省で確認された。両者とも生存している。他の患者6名は、2005年4月2日以前に検知されていたと考えられる。WHOはこの6名に関して、当局からのさらなる詳細情報の提供を求めている。

保健省はWHOに対して、2004年12月中旬以来、ベトナム国内の18地域( 都市および省 )で患者41名が確認されたと報告している。そのうち16名が死亡し、6名が治療中である。



## 感染症の話

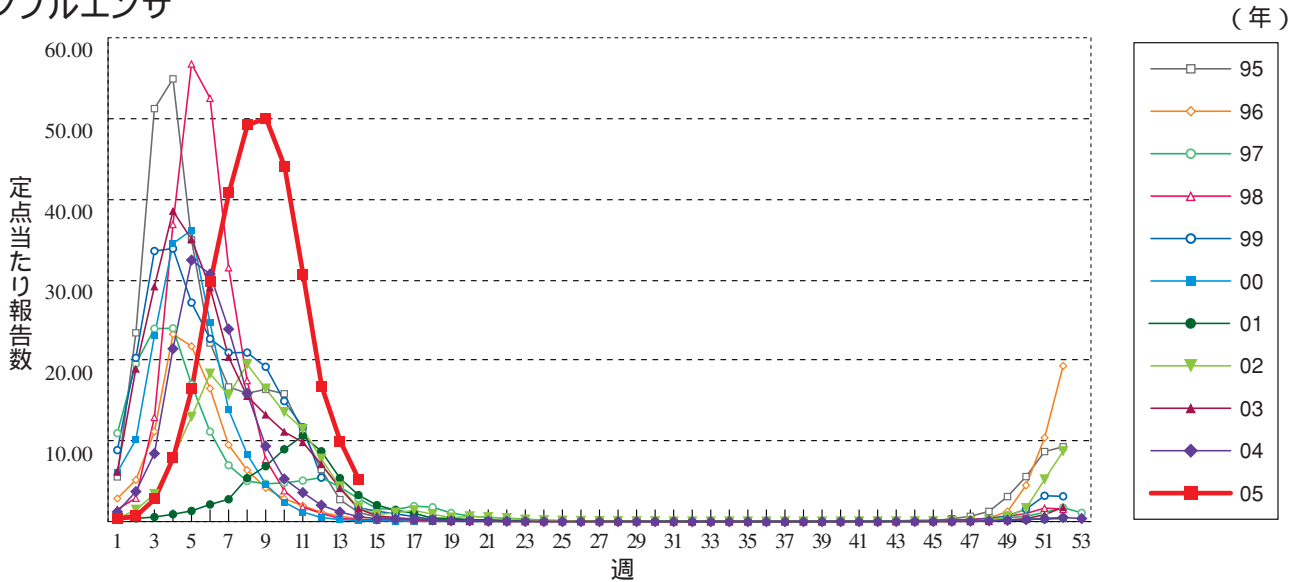
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

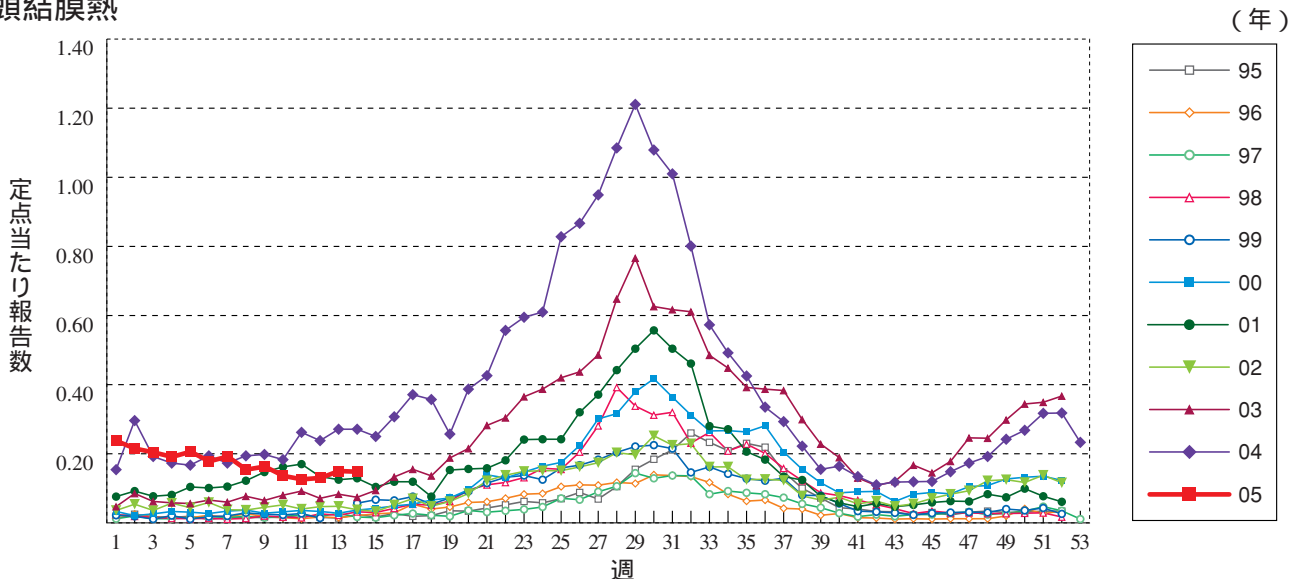
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧(14週)**

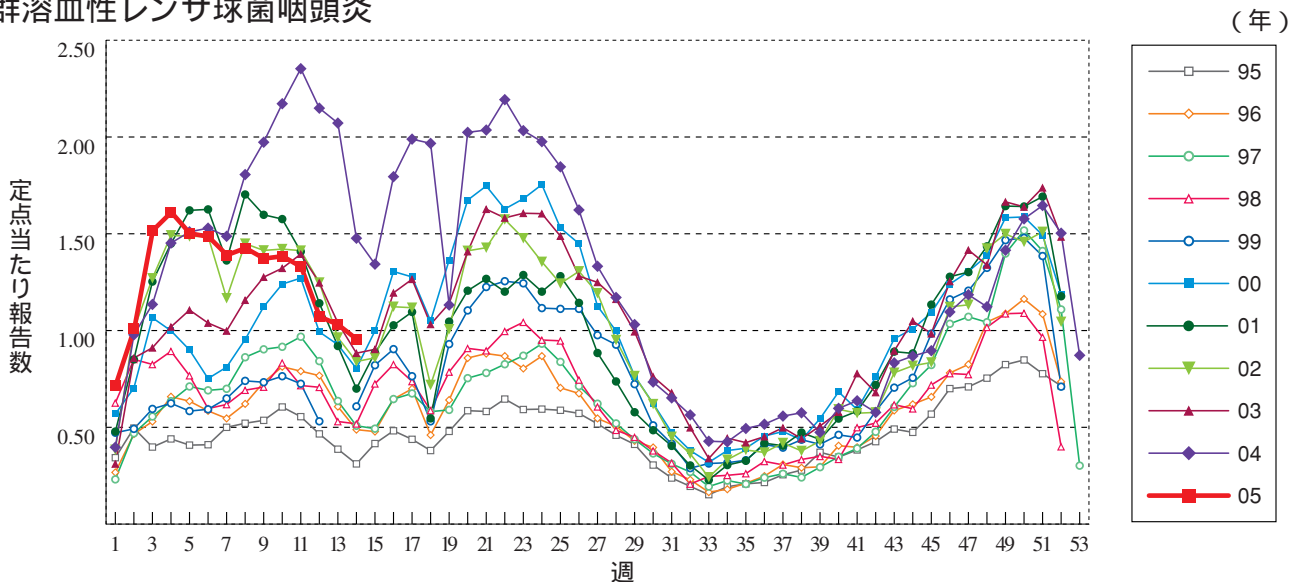
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

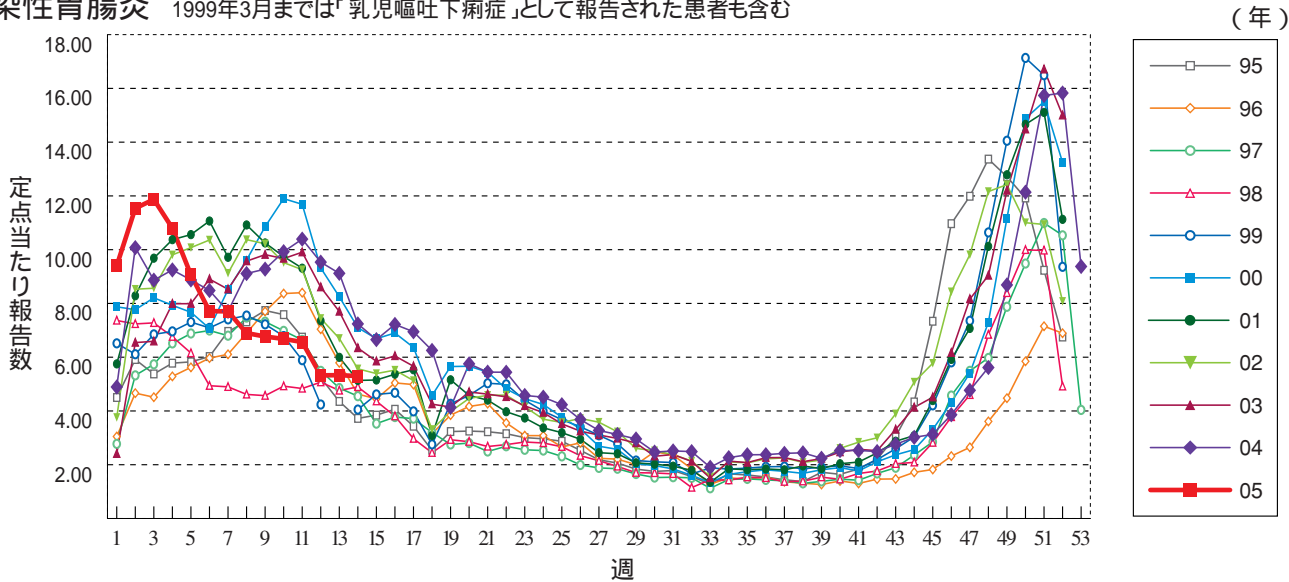


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

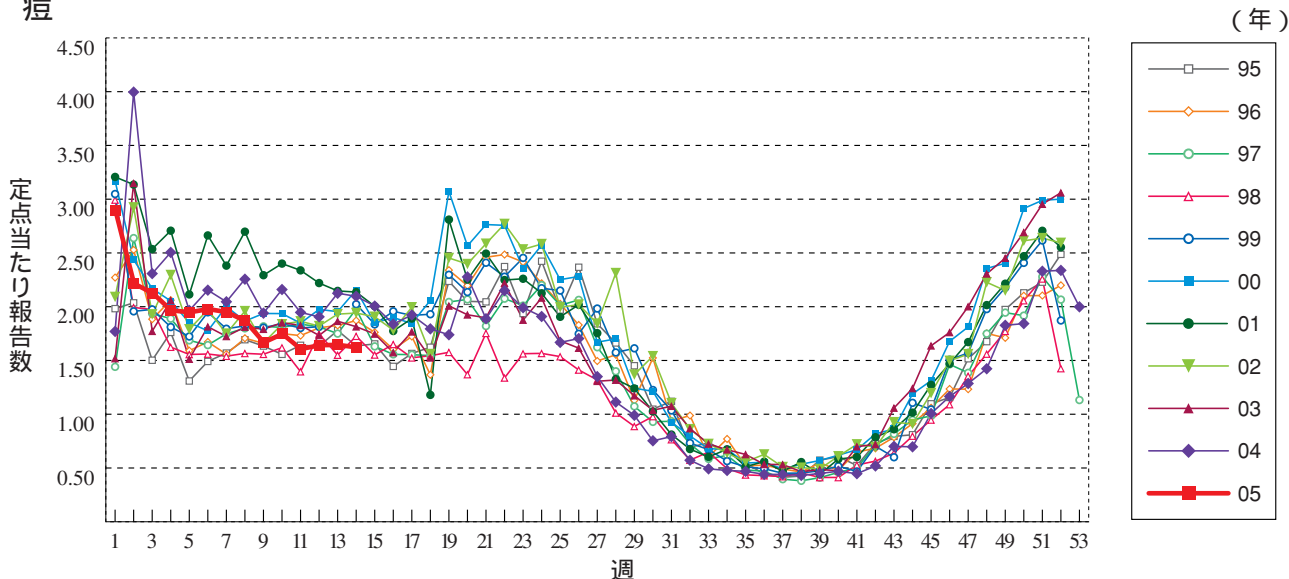




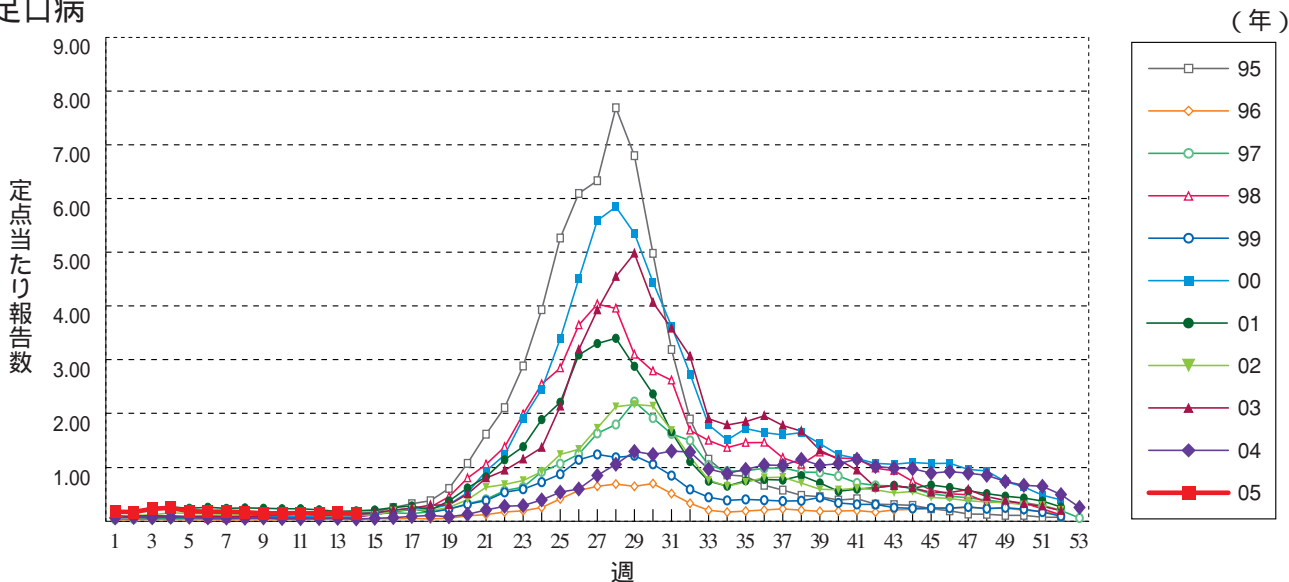
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



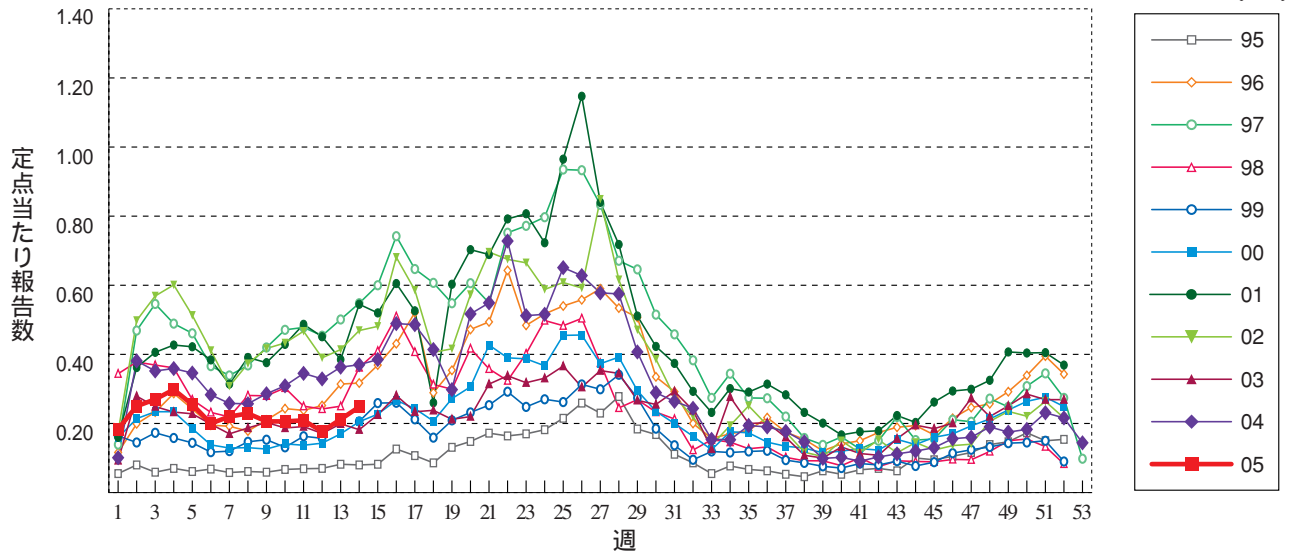
**水痘**



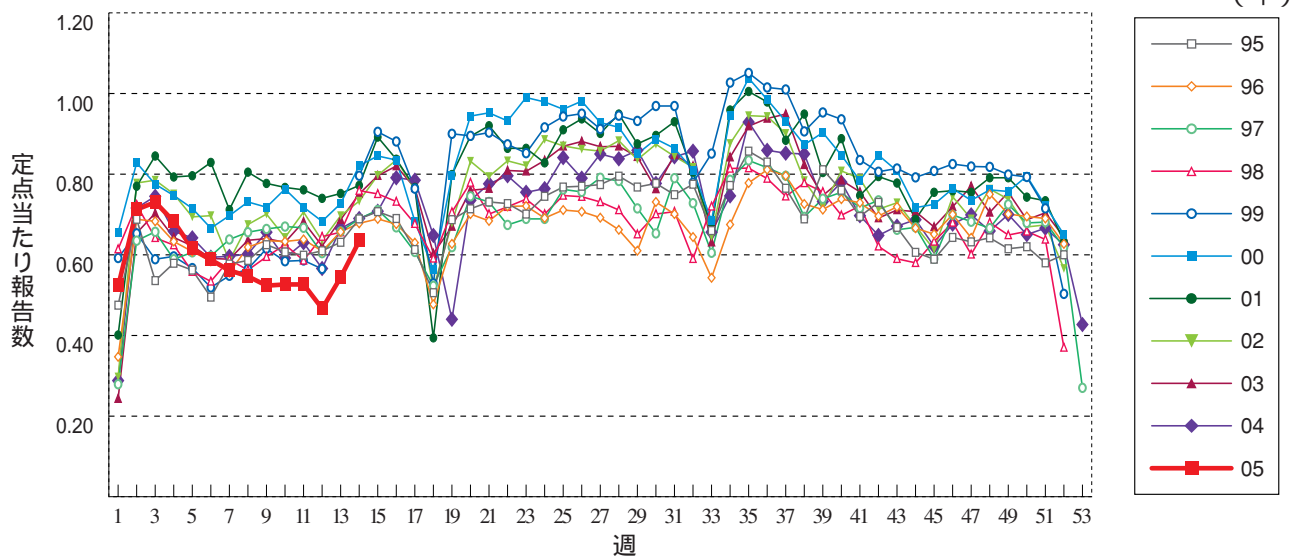
**手足口病**



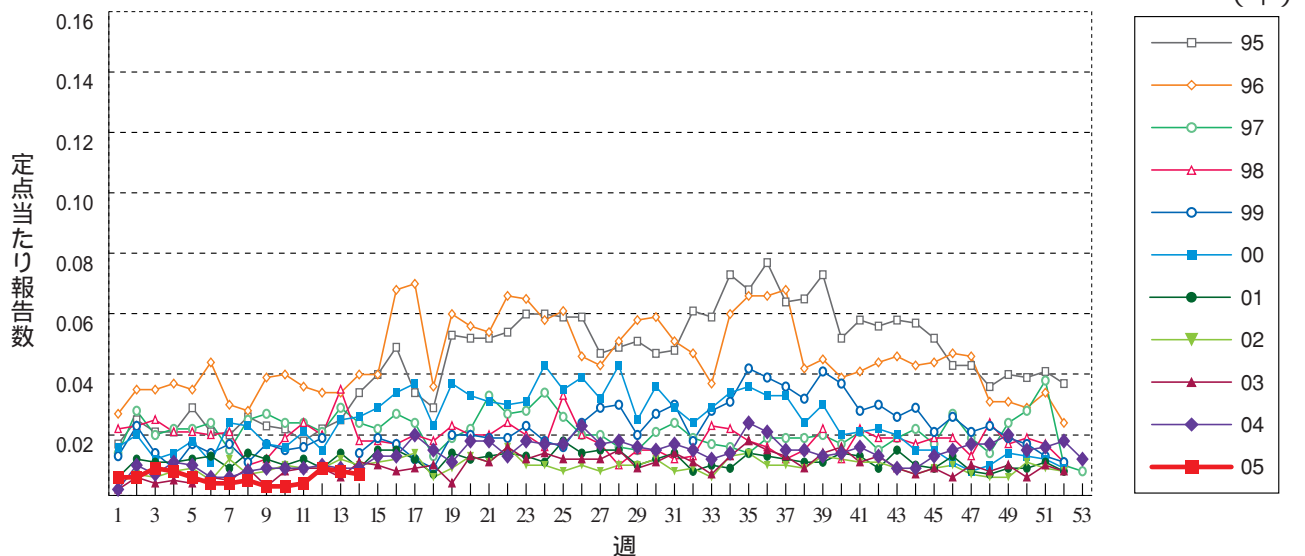
伝染性紅斑



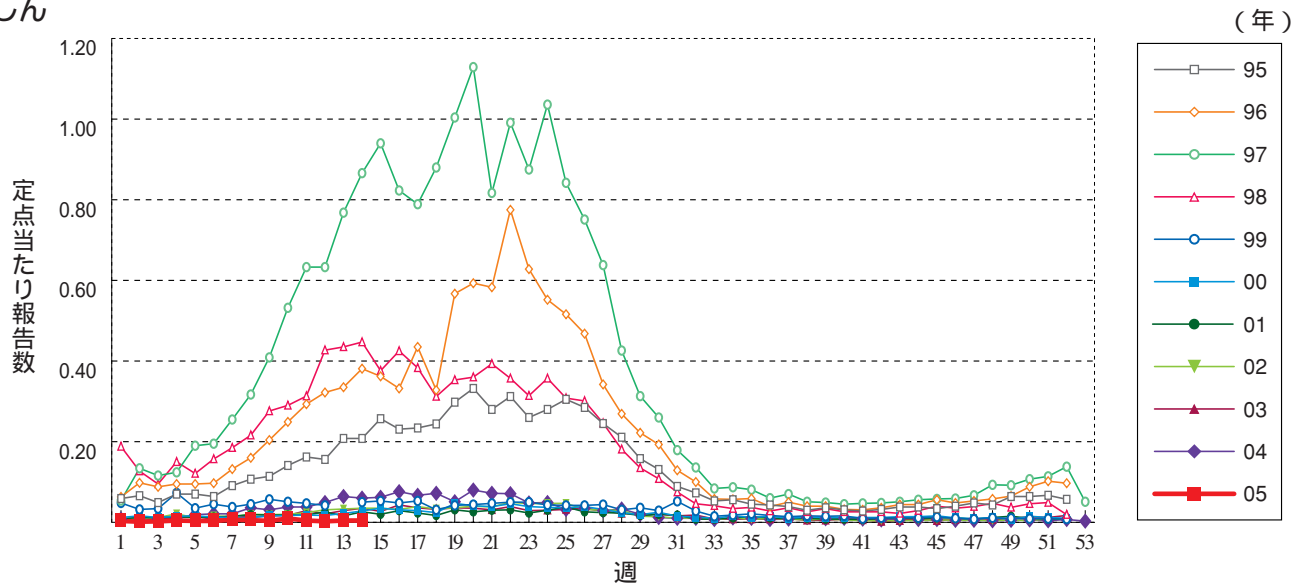
突発性発しん



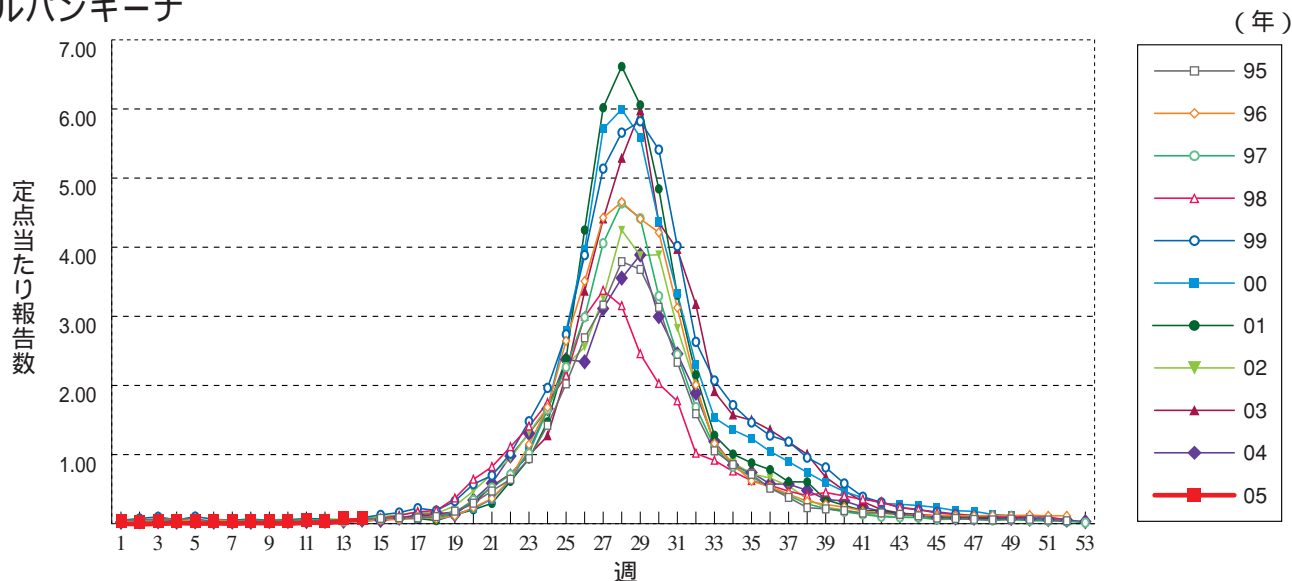
百日咳



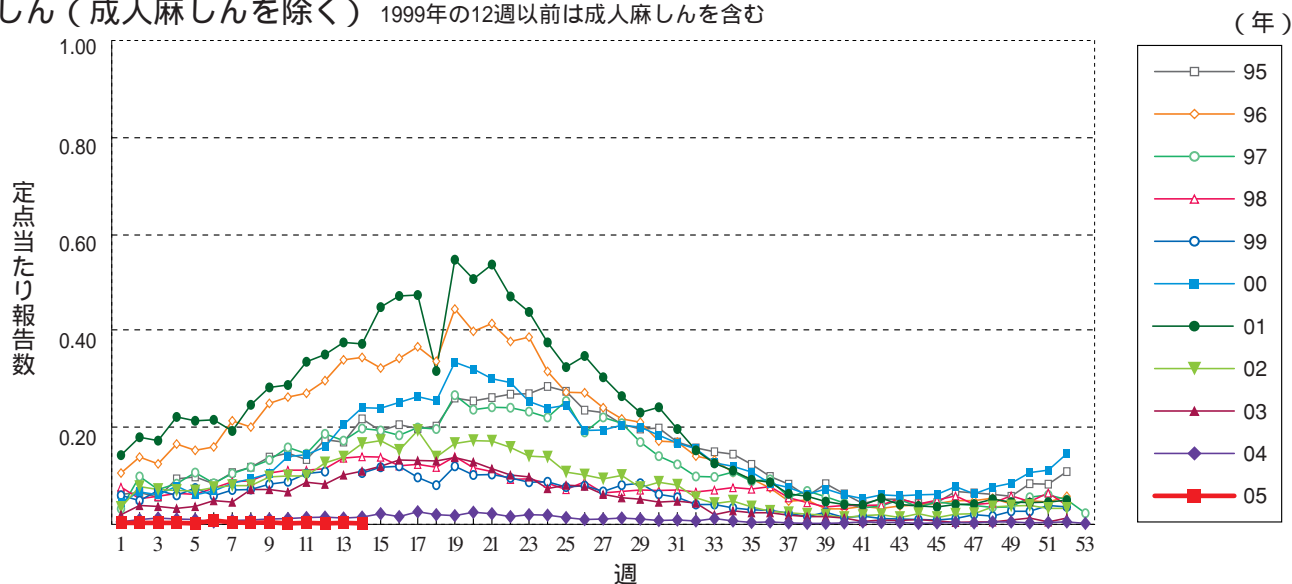
風しん



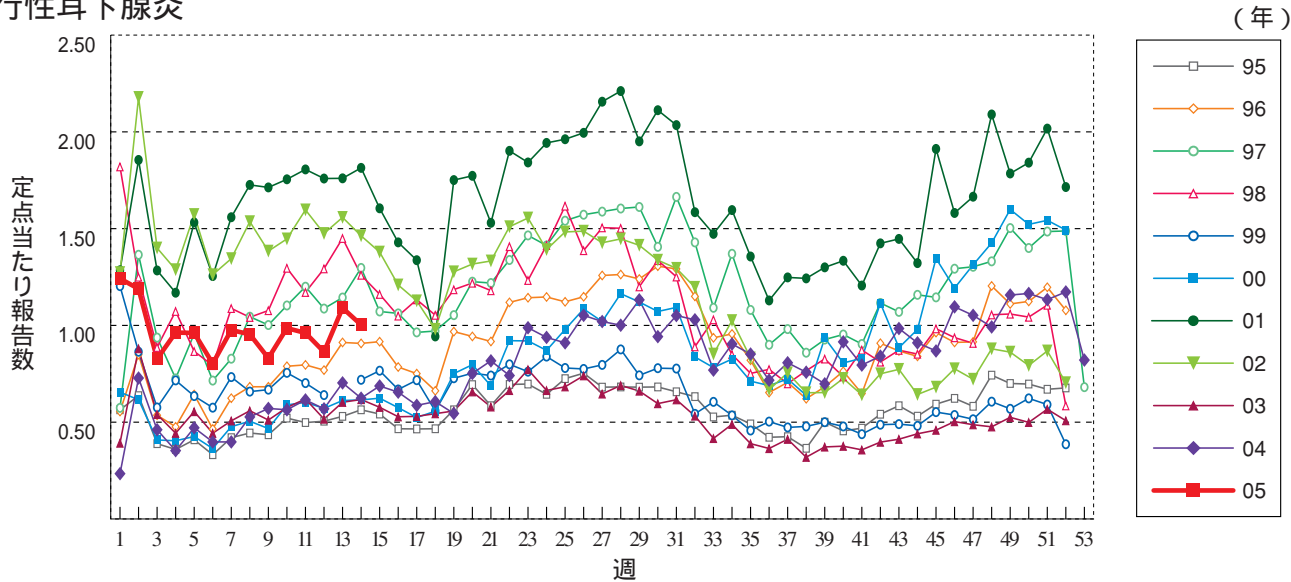
ヘルパンギーナ



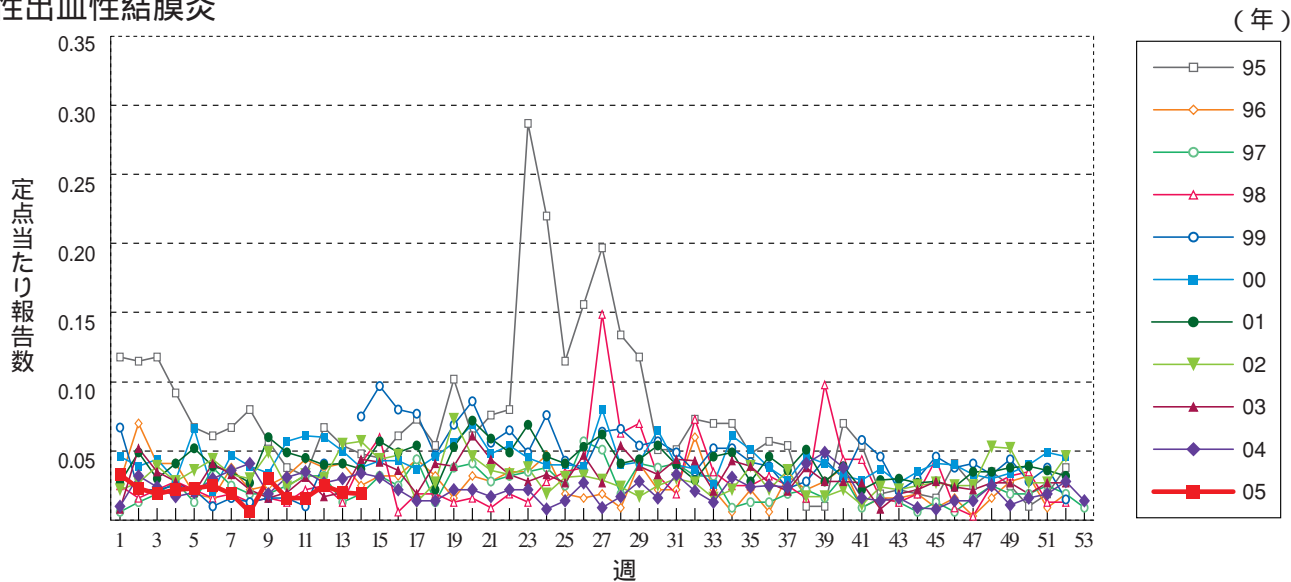
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



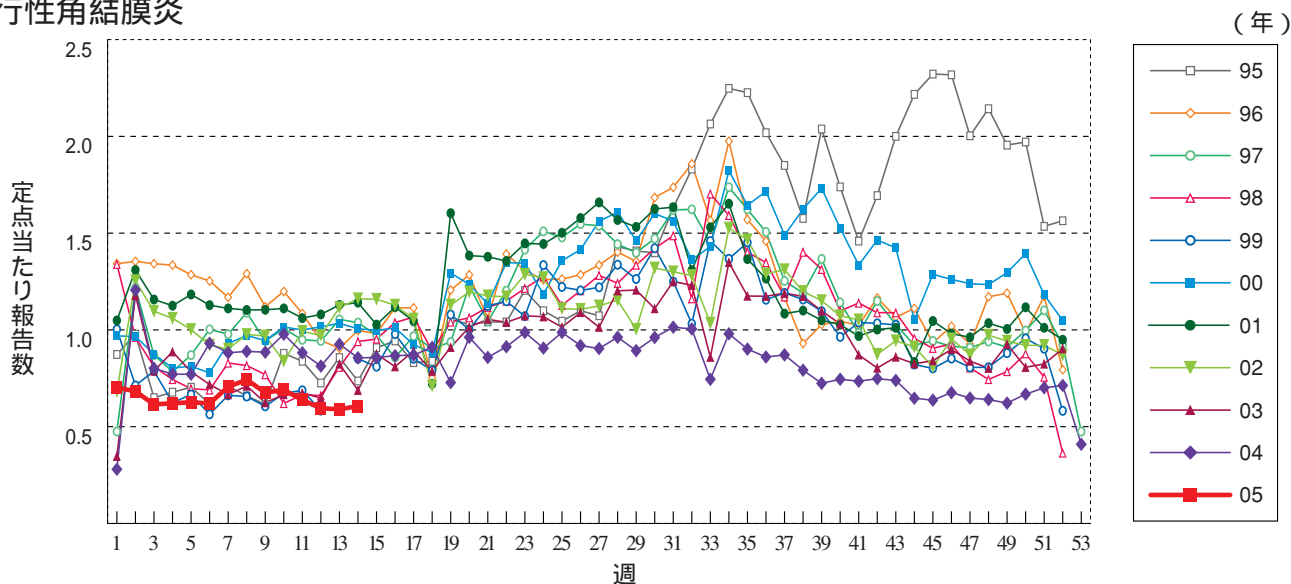
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

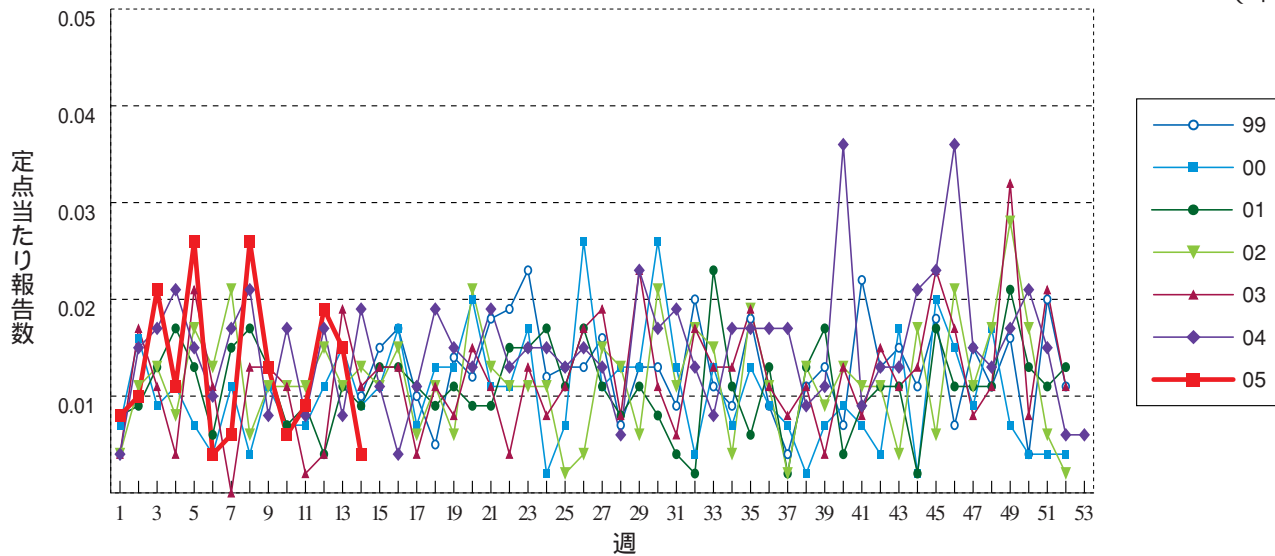


流行性角結膜炎



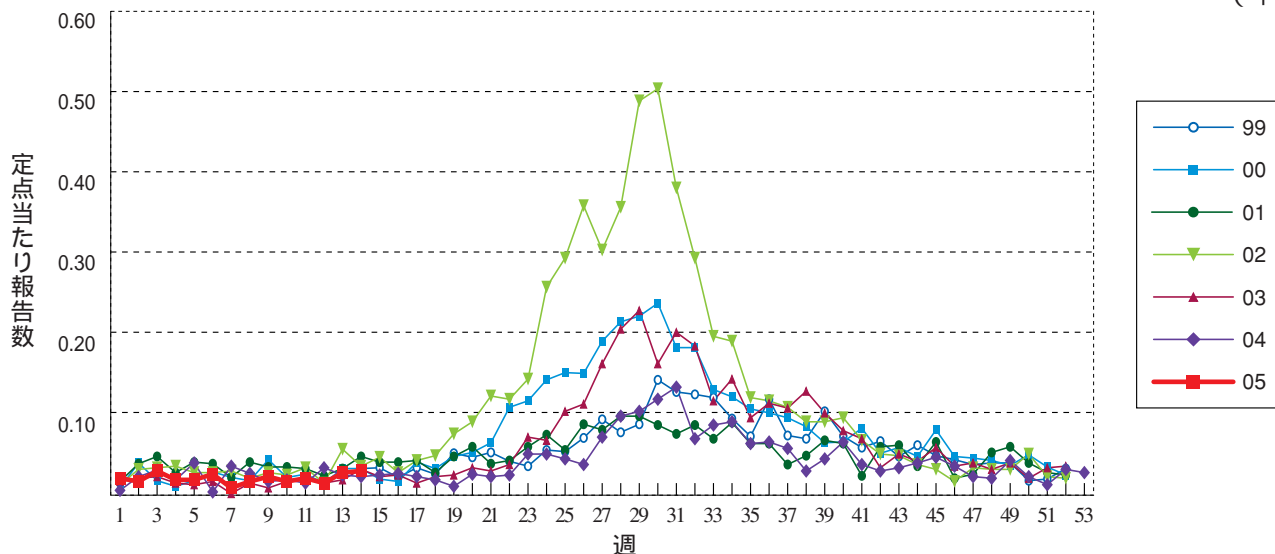
細菌性髄膜炎

(年)



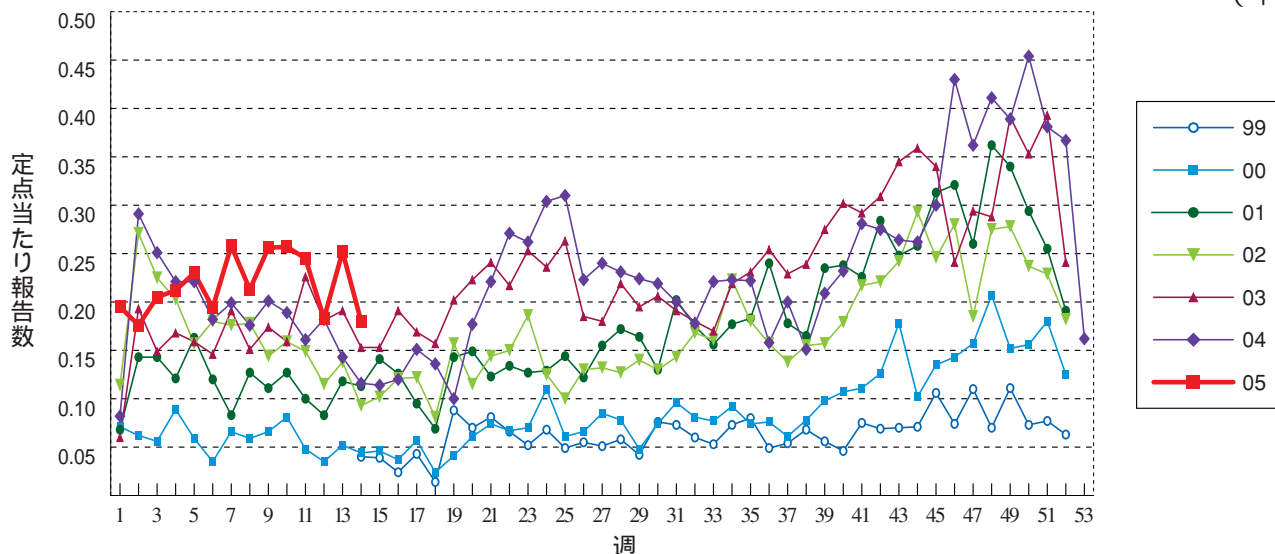
無菌性髄膜炎

(年)

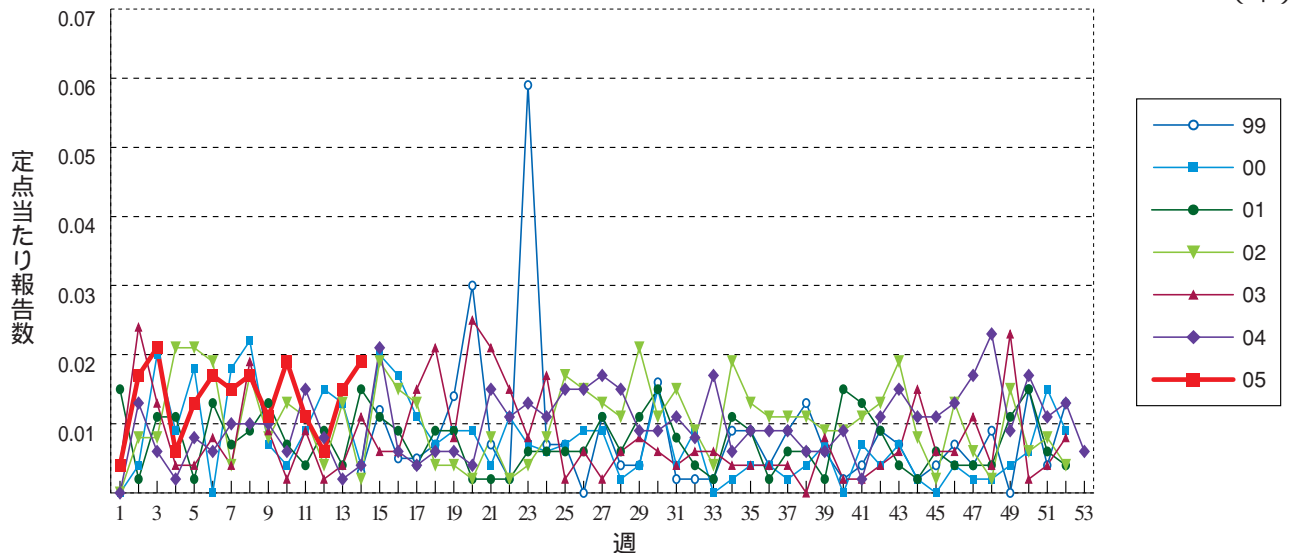


マイコプラズマ肺炎

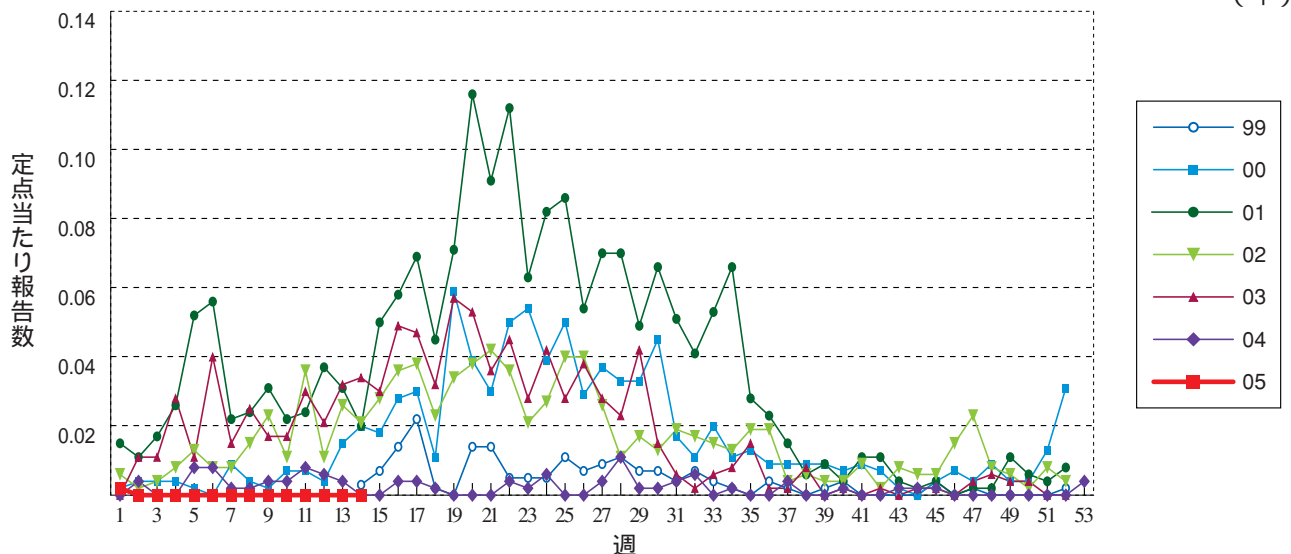
(年)



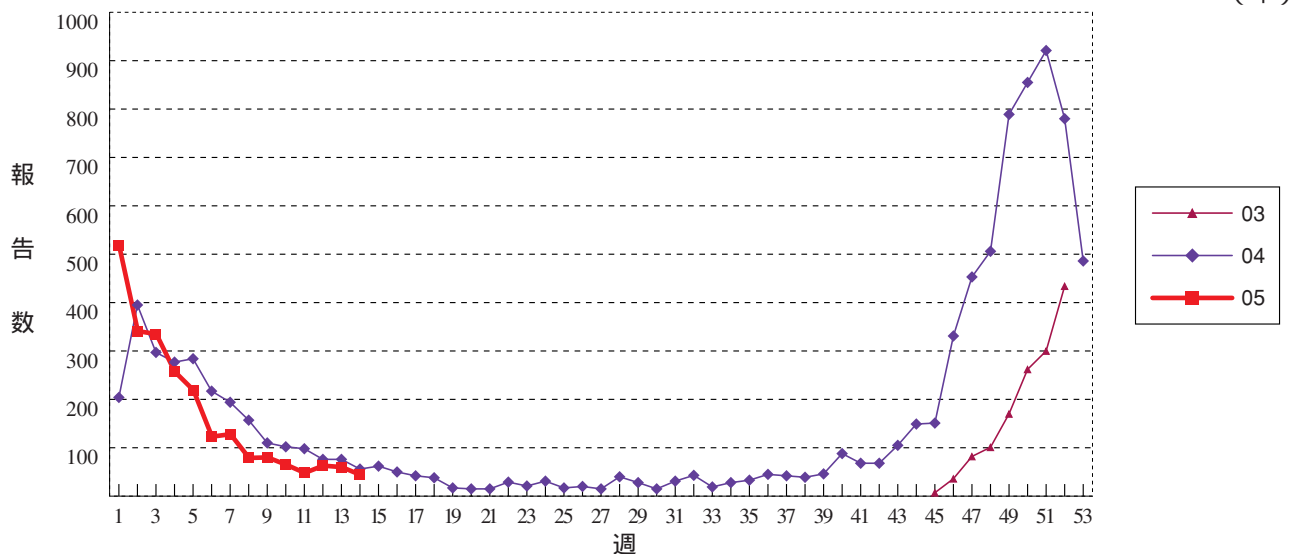
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻しん



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





### 14週のデータ

注)表中の報告数は4月14日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年14週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	8	173	-	15	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	27	-	3	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	1	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	9	186	6	179	-	6	-	-	2	17	-	-	2	88
北海道	-	-	-	-	-	1	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	38	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	1	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	7	-	41	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
神奈川県	-	-	-	-	-	3	1	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	4	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	9	-	14	-	-	-	-	1	3	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	3	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	11	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
兵庫県	-	-	-	-	-	6	-	6	-	-	-	-	-	6	-	-	1	6
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2	5	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	4	-	38	1	21	6	280	-	-	-	15	-	-
北海道	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	13	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	7	-	2	1	86	-	-	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	2	13	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	14	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	21	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	41	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	-	1	24	-	7	-	1	-	-	12	137	-	18
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1
東京都	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2	25	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	14	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	18	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	27
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
東京都	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	17	-	-	7	66	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	1	3	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	2	76	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-

**全数把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	24589	5.24	449	0.15	2908	0.96	16126	5.30	4936	1.62	433	0.14	754	0.25	1937	0.64	20	0.01
北海道	1965	8.58	29	0.20	264	1.82	301	2.08	185	1.28	6	0.04	19	0.13	63	0.43	-	-
青森県	801	12.32	3	0.07	70	1.67	180	4.29	36	0.86	14	0.33	4	0.10	21	0.50	-	-
岩手県	597	9.63	2	0.05	17	0.46	75	2.03	33	0.89	3	0.08	11	0.30	17	0.46	-	-
宮城県	608	6.14	6	0.10	48	0.79	231	3.79	80	1.31	4	0.07	17	0.28	40	0.66	-	-
秋田県	1023	18.60	4	0.11	26	0.74	121	3.46	18	0.51	3	0.09	14	0.40	14	0.40	-	-
山形県	483	10.06	4	0.13	62	2.07	153	5.10	52	1.73	6	0.20	4	0.13	24	0.80	1	0.03
福島県	512	6.40	4	0.08	30	0.63	239	4.98	102	2.13	10	0.21	33	0.69	33	0.69	-	-
茨城県	393	3.33	8	0.11	62	0.84	338	4.57	84	1.14	4	0.05	12	0.16	33	0.45	-	-
栃木県	323	4.61	2	0.04	29	0.63	140	3.04	37	0.80	2	0.04	11	0.24	30	0.65	3	0.07
群馬県	315	3.15	13	0.21	56	0.90	293	4.73	106	1.71	10	0.16	2	0.03	37	0.60	-	-
埼玉県	625	2.42	19	0.12	142	0.88	875	5.40	341	2.10	26	0.16	21	0.13	117	0.72	-	-
千葉県	456	2.16	12	0.09	134	1.01	729	5.48	211	1.59	13	0.10	37	0.28	96	0.72	-	-
東京都	396	2.22	14	0.10	124	0.87	732	5.15	138	0.97	9	0.06	46	0.32	85	0.60	-	-
神奈川県	919	2.74	31	0.15	182	0.88	1041	5.05	317	1.54	16	0.08	81	0.39	177	0.86	1	0.00
新潟県	731	7.38	16	0.27	105	1.75	282	4.70	101	1.68	5	0.08	5	0.08	27	0.45	1	0.02
富山県	326	6.79	7	0.24	46	1.59	191	6.59	60	2.07	-	-	10	0.34	22	0.76	-	-
石川県	400	8.33	4	0.14	60	2.07	242	8.34	52	1.79	-	-	2	0.07	11	0.38	-	-
福井県	400	12.50	9	0.41	21	0.95	306	13.91	42	1.91	1	0.05	2	0.09	15	0.68	4	0.18
山梨県	160	3.90	-	-	22	0.88	72	2.88	22	0.88	3	0.12	3	0.12	11	0.44	-	-
長野県	658	7.48	2	0.04	61	1.11	337	6.13	72	1.31	2	0.04	5	0.09	22	0.40	-	-
岐阜県	360	4.29	22	0.42	20	0.38	134	2.53	85	1.60	4	0.08	-	-	35	0.66	-	-
静岡県	678	4.95	19	0.22	64	0.74	495	5.76	202	2.35	11	0.13	18	0.21	73	0.85	1	0.01
愛知県	1218	6.25	27	0.15	110	0.60	735	4.04	241	1.32	34	0.19	24	0.13	108	0.59	1	0.01
三重県	573	7.85	17	0.38	30	0.67	387	8.60	122	2.71	15	0.33	8	0.18	36	0.80	1	0.02
滋賀県	317	6.22	1	0.03	10	0.30	91	2.76	55	1.67	4	0.12	-	-	17	0.52	-	-
京都府	600	4.96	3	0.04	55	0.73	298	3.97	88	1.17	6	0.08	8	0.11	36	0.48	-	-
大阪府	755	2.62	21	0.11	179	0.90	892	4.51	213	1.08	34	0.17	24	0.12	81	0.41	-	-
兵庫県	889	4.65	43	0.34	68	0.54	797	6.38	218	1.74	8	0.06	38	0.30	76	0.61	1	0.01
奈良県	214	3.96	7	0.21	14	0.41	172	5.06	39	1.15	14	0.41	5	0.15	13	0.38	1	0.03
和歌山県	178	3.56	4	0.13	18	0.58	143	4.61	77	2.48	9	0.29	3	0.10	15	0.48	-	-
鳥取県	200	6.90	6	0.32	28	1.47	188	9.89	19	1.00	7	0.37	3	0.16	21	1.11	-	-
島根県	118	3.19	5	0.22	9	0.39	192	8.35	36	1.57	1	0.04	1	0.04	17	0.74	-	-
岡山県	400	4.76	-	-	30	0.56	231	4.28	81	1.50	4	0.07	6	0.11	19	0.35	-	-
広島県	744	6.20	10	0.13	62	0.83	569	7.59	91	1.21	12	0.16	16	0.21	43	0.57	2	0.03
山口県	408	5.83	10	0.20	91	1.86	443	9.04	89	1.82	-	-	18	0.37	41	0.84	-	-
徳島県	187	4.92	3	0.13	18	0.78	74	3.22	24	1.04	7	0.30	3	0.13	12	0.52	-	-
香川県	321	6.29	1	0.03	28	0.88	123	3.84	62	1.94	8	0.25	7	0.22	16	0.50	-	-
愛媛県	439	7.20	2	0.05	53	1.43	214	5.78	57	1.54	15	0.41	4	0.11	38	1.03	-	-
高知県	363	7.41	2	0.06	47	1.52	158	5.10	49	1.58	16	0.52	10	0.32	15	0.48	-	-
福岡県	452	2.28	12	0.10	156	1.30	774	6.45	322	2.68	33	0.28	130	1.08	115	0.96	2	0.02
佐賀県	190	5.43	3	0.13	24	1.04	133	5.78	47	2.04	9	0.39	23	1.00	30	1.30	-	-
長崎県	376	5.53	8	0.18	25	0.57	238	5.41	67	1.52	1	0.02	11	0.25	19	0.43	1	0.02
熊本県	324	4.05	12	0.25	47	0.98	301	6.27	89	1.85	6	0.13	13	0.27	42	0.88	-	-
大分県	351	6.05	2	0.06	50	1.39	355	9.86	61	1.69	6	0.17	11	0.31	43	1.19	-	-
宮崎県	376	6.37	14	0.39	65	1.81	640	17.78	116	3.22	5	0.14	3	0.08	45	1.25	-	-
鹿児島県	382	4.15	6	0.11	39	0.71	445	8.09	141	2.56	8	0.15	21	0.38	31	0.56	-	-
沖縄県	1085	18.71	-	-	7	0.21	26	0.76	156	4.59	19	0.56	7	0.21	5	0.15	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	18	0.01	268	0.09	6	0.00	3054	1.00	12	0.02	391	0.61	2	0.00	14	0.03	85	0.18
北海道	1	0.01	5	0.03	-	-	52	0.36	-	-	17	0.59	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	4	0.10	1	0.02	13	0.31	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	-	-	-	-	28	0.76	-	-	7	0.58	-	-	-	-	3	0.15
宮城県	1	0.02	-	-	1	0.02	38	0.62	1	0.08	3	0.25	-	-	-	-	1	0.08
秋田県	1	0.03	2	0.06	-	-	11	0.31	-	-	4	0.57	-	-	-	-	5	0.63
山形県	-	-	-	-	-	-	42	1.40	-	-	1	0.13	-	-	-	-	5	0.50
福島県	3	0.06	1	0.02	-	-	30	0.63	-	-	9	0.75	-	-	-	-	4	0.57
茨城県	-	-	-	-	-	-	41	0.55	-	-	16	1.00	-	-	-	-	1	0.09
栃木県	-	-	4	0.09	-	-	8	0.17	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	18	0.29	-	-	29	0.47	-	-	25	1.79	-	-	5	0.50	-	-
埼玉県	-	-	14	0.09	-	-	166	1.02	1	0.03	22	0.55	-	-	-	-	3	0.33
千葉県	1	0.01	3	0.02	-	-	216	1.62	-	-	24	0.71	-	-	-	-	2	0.22
東京都	-	-	6	0.04	-	-	142	1.00	1	0.07	8	0.57	-	-	-	-	-	-
神奈川県	4	0.02	7	0.03	-	-	189	0.92	-	-	36	0.86	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	-	-	65	1.08	-	-	1	0.11	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	4	0.14	-	-	44	1.52	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	31	1.07	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.20
福井県	-	-	-	-	1	0.05	76	3.45	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	8	0.32	-	-	1	0.33	-	-	-	-	8	0.80
長野県	-	-	1	0.02	-	-	48	0.87	-	-	6	0.55	-	-	2	0.18	1	0.09
岐阜県	-	-	28	0.53	1	0.02	52	0.98	1	0.08	6	0.50	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	6	0.07	-	-	92	1.07	-	-	8	0.40	-	-	-	-	2	0.20
愛知県	-	-	8	0.04	-	-	210	1.15	-	-	23	0.66	-	-	-	-	1	0.08
三重県	-	-	4	0.09	-	-	49	1.09	-	-	11	0.92	-	-	1	0.11	3	0.33
滋賀県	-	-	-	-	-	-	30	0.91	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	1	0.01	85	1.13	-	-	10	0.56	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	18	0.09	-	-	163	0.82	1	0.02	16	0.31	-	-	1	0.07	2	0.14
兵庫県	-	-	11	0.09	-	-	81	0.65	-	-	13	0.37	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	46	1.35	1	0.11	-	-	-	-	2	0.33	1	0.17
和歌山県	-	-	12	0.39	-	-	40	1.29	-	-	1	0.25	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	2	0.11	1	0.33	6	2.00	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.25
岡山県	3	0.06	6	0.11	-	-	18	0.33	-	-	11	0.92	-	-	-	-	5	1.00
広島県	-	-	1	0.01	-	-	109	1.45	-	-	8	0.40	-	-	1	0.05	2	0.11
山口県	-	-	3	0.06	-	-	26	0.53	-	-	5	0.56	-	-	-	-	15	1.67
徳島県	-	-	2	0.09	-	-	12	0.52	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	8	0.25	-	-	50	1.56	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	29	0.78	-	-	47	1.27	-	-	11	1.38	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	6	0.19	1	0.03	22	0.71	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	16	0.13	-	-	260	2.17	5	0.19	11	0.42	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	3	0.13	-	-	48	2.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.29
長崎県	-	-	4	0.09	-	-	56	1.27	-	-	2	0.25	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	12	0.25	-	-	110	2.29	-	-	10	1.11	-	-	2	0.13	4	0.27
大分県	-	-	5	0.14	-	-	36	1.00	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	-	-	67	1.86	-	-	12	3.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	8	0.15	-	-	32	0.58	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	1	0.03	-	-	31	0.91	-	-	16	1.60	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年14週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	9	0.02	-	-	44
北海道	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	...
山形県	1	0.10	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	5
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.22	-	-	5
東京都	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	2
山梨県	1	0.10	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	...
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.07	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	1	0.14	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	...

**定点把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県( ... )が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。



## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。  
\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年14週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第14号 平成17年4月22日発行  
発行：国立感染症研究所  
厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部  
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
T E L : 03-5285-1111  
F A X : 03-5285-1129  
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
< 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
< 旅行者のための海外感染症情報( 厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。